

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ヒート	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.56	△RG	0.037	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

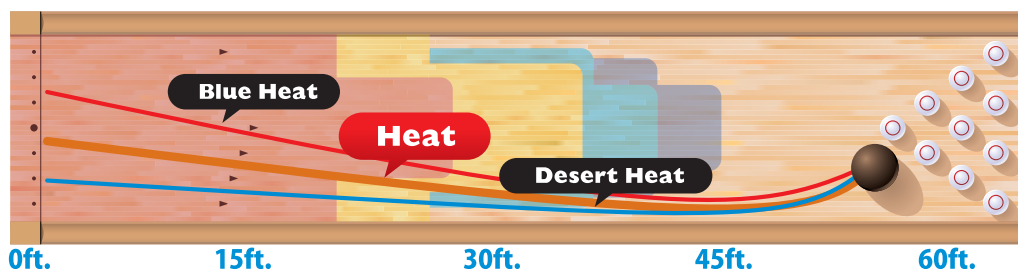
**比較対象ボール：デザートヒート**

フレアーの幅  インチ

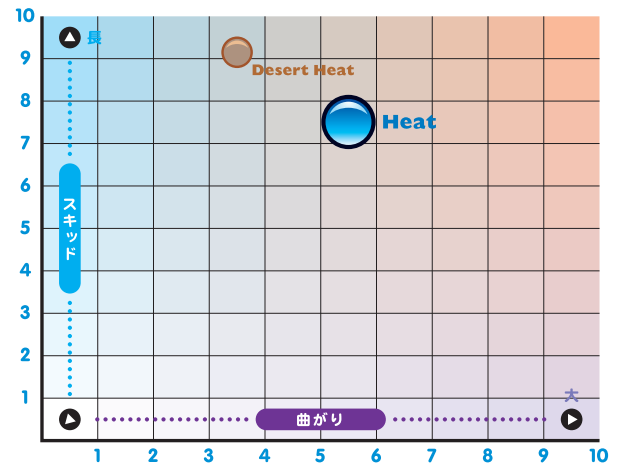
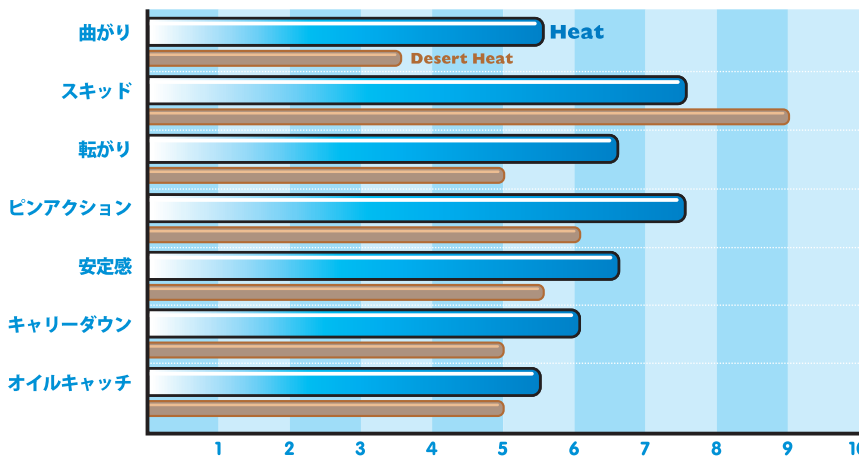
PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



### ボールの評価

とても良い転がり感を伴い、オイルに弾かれることなくスキッドは長め。曲がり幅的には大きいほうではないが、アークとシャープの中間のリアクションで、スキッドとリアクションのバランスが良いため、非常にコントロール性能に優れていて扱いやすさを感じる。

気に入って使用した当時センセーショナルだった HEAT の性能そのままにキャッチ力、ピンアクション性能を格段に向上することに成功している。あの当時の HEAT は「こんなにとびが良かったかな」と思うくらいに柔らかく、横に払うようにアクションを起こし、薄めのアクションは絶品です。当時の HEAT 同様、良い安定感も継承されているが、MICA のカバーストックゆえの多少のキャリーダウンには反応をみせるが、極端にパフォーマンスを損なうほどのものでもない。この見解はクリーンな走りバックエンドの動きを強調させた場合、どのボールにも現れる症状と同様である。私同様、当時の HEAT を気に入って使用していただいた方も多いと思いますが、昔の HEAT の最大の特徴と言えば、扱いやすさとコントロール性能。そのパフォーマンスを彷彿させるコントロール性能、そしてピンアクションが向上していくなればそそられる方も多いことでしょう。扱いやすさを求め、安定したポケットヒットを望むならば、HEAT を選ぶべきでしょう。

### 特記事項

当時センセーショナルだった HEAT が現在のコンディションにマッチすべく復活いたしました。当時のボールを気に入って使用した方、また安定したポケットヒットを望む方オススメです。